

## クリアー・ハードコート液(ソフトタイプ)施工例

GDV-31系 タイヤ サイドウォール 高光沢、高耐久コート剤テスト

2008/10/2 施工

⑦ BMW (ミウラ車) 【15%】・・・2コート

[確認事項] ・市販の可否。

[試験工程] \*前処理作業  
1. タイヤ全体に水をかけ、中性洗剤&クレンザーを使用し、ブラシで徹底的に擦る。  
2. 5分ほど放置し、あらためて上記洗浄を繰り返す。  
3. ブラシで擦りながら、水洗。  
4. 約1時間放置し、乾燥。  
5. 乾燥確認後、ウエスにアセトン(IPAでも可能)をつけ、汚れを1回だけ拭き取る。

\*コート作業

・全て、GDV-31 15%:IPA 85%品でスポンジコート。(塗工量=約15g/本)  
コート後、約1時間自然放置(乾燥)し、同方法で2回目のコート(2層コート)。  
2回目のコートの際、タック(ベタツキ)感がない事を確認する必要がある。

[コメント] ・新品タイヤ装着車の施工不良の報告を受け、低濃度化、2コートでコートを実施。  
15%では、2コートでも、やや光沢感が弱い感じがある。  
・希釈濃度20%で、薄塗り2回(硬化後2層コート)を推奨。



コート前



アセトン拭き上げ後



1コート完了後



2コート完了後

経過確認

平成21年1月10日時点でも、光沢は写真と同等で、劣化見られず。  
\*新品タイヤには塗布不可(数車テスト結果)